



残りの者…ガザにいるパレスチナ人を信じる！(1)

●何年もの激しい迫害の後、ガザの居住者 150 万人のうちわずか 2,000 人程のパレスチナ人信者がそこで生活を続けています。この勇敢な聖徒たちのために、特にミッションスクールと聖書協会書店を運営しているガザバプテスト教会のメンバーのために執り成しましょう。先日、その書店で働いていたラミ・アヤッドさんは、自分の同胞に誘拐され、殺されました。妻のポーリーンさんは彼との間にできた 3 番目の子どもを生んだばかりで、夫が愛していたミニストリーと仕事を続けることを選び取っています。

イラクでの迫害 (2)

●6月、過激派イスラム教徒による脅威と攻撃のため、イラク北部の町モスルに住むクリスチャンの約半数がやむなく強制避難に追い込まれました。ある報告によると、250 のクリスチャン家族が、ボランディアのクリスチャン民兵によって 12 箇所の出入り口で 24 時間体制で警備されているバーテラ村に避難しているとあります。主を賛美しましょう。そして、このボランディアの人々を守ってくださるよう、そしてイラク人クリスチャンが、イスラム過激派によるこの組織的な運動によってイラクから追放されることのないように祈りましょう。

「クーデター」ではない—ホンジュラスに関する真実 (3)

●ホンジュラスの有名な独裁者であり、最近大統領職を追われたマヌエル・セラヤ氏に対して、国会と最高裁判所は、法定の任期を過ぎても大統領に就任し続けることを拒否しました。セラヤ氏はこれを無視することによって憲法違反を企てました。セラヤ氏が、「私はまだ政権を握っている」と言った時、軍は彼を大統領職から追うことが許されました。これは「クーデター」であるとニュースメディアによって報道されましたが、これは不正な報道です。セラヤ氏は静かにその職を退けられたのです。誰も殺されていないし、危険にさらされてはいませんでした。また、軍は速やかに彼らの立法上の義務を再開した国会指導者にホンジュラスに対する権限を返上しました。

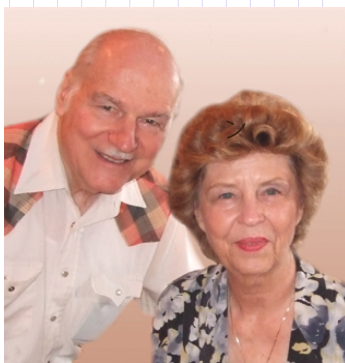
ホンジュラスと暫定大統領のロベルト・ミチェレティ氏のために祈りましょう。ホンジュラスの約 95% の人々は、国民に仕えるよりも独裁制を導入しようとするセラヤ氏に反対しています。セラヤ氏を支持するのはほんの少数ですが、彼には周辺諸国のチャベス氏(ベネズエラ)やオルテガ氏(ニカラグア)、カストロ氏(キューバ)のサポートがあり、彼らは、南半球で民主的統治を破壊するために手を組んでいます。今でも、ウゴ・チャベス氏は、ホンジュラスの暫定大統領を追放し、セラヤを大統領に再任させるために脅迫をけしかけています。(編集者注：ホンジュラスの人々にこのことが起こらないように、御使いを遣してくださるよう主に祈りましょう。)

ブレイズ・レポート！ (4)

●かつてないほどに、イランで新しい信者が増えています！この変化は、真偽を問われているマフムード・アフマディネジャド氏の選挙によって引き起こされた政治的混乱によるものであり、信仰と真理に対する忠誠の大転換が起こっていることを明らかにしています。とても多くの人々が救われていることを喜びましょう。そして、何千何万ものイラン人が神の御国へ入るこの状況の中で聖霊様が働かれるよう熱心に祈りましょう。

世界のための祈り

とりなし手の皆様へ



チャールズ&ダイアン・グリコ